

不二製油グループ本社株式会社 2023 年度第 3 四半期 決算説明会 主な質疑応答

・日時	2024 年 2 月 8 日（木） 15:30～16:30		
・出席者	上席執行役員	最高財務責任者 CFO	前田 淳

Q. 業務用チョコレート事業・ブラマーの営業利益は、第 3 四半期で大幅な減益となったが、第 4 四半期以降改善は見込めるか。

A. 第 2 四半期まで、価格改定などにより単価要因は前年同期比プラスで推移していたが、カカオ価格の高騰や米国金利の高止まりなどにより価格改定の遅れが生じ、第 3 四半期で単価要因がマイナスに転じたことが、大幅な減益につながった。第 4 四半期においては、既に販売価格への反映は進めており改善を見込んでいる。

Q. カカオ価格が高騰しているが、業務用チョコレート事業の業績への影響は。

A. チョコレートの原料となるカカオの高騰に対しては、販売価格の適正化に取り組むことで、対応を進めている。一方で、価格対応だけではなく、当社の強みであり技術力を有するチョコレート用油脂*やコンパウンドチョコレート*などを、お客様の需要に応じて提案を行うことで、取り込みを進めていく。

*チョコレート用油脂：パーム油等の植物油脂から作られるチョコレート製造に使用する油脂。
コンパウンドチョコレート：チョコレート用油脂を用いて作られるチョコレート。

Q. 業務用チョコレート事業・ブラジルのハラルドの状況は。

A. カカオ価格の高騰やブラジル国内の景況感を勘案し、修正計画（2023 年 11 月）から、営業利益の見通しを若干引き下げている。ただ、2023 年 4 月に第 2 工場が稼働し、順調に稼働しており、販売数量は前期比で増加する見通し。

Q. 日本の植物性油脂事業、業務用チョコレート事業の今後の利益の考え方を教えてほしい。

A. 植物性油脂事業では、2022 年度はパーム油価格の高騰に対し販売価格改定の遅れが生じたが、2023 年度はパーム油価格が安定的に推移したことに加え、需要も堅調だったことから、収益への追い風が見られたが、徐々に落ち着くのではないかとみている。

業務用チョコレート事業では、カカオ価格が高騰するなど厳しい事業環境だが、お客様への提案や販売価格の適正化を進めることで、安定した収益を確保していきたい。

Q. 3 月下旬にブラマーの構造改革の発表が予定されているが、足元の業績改善を果たすために何に取り組むべきか。

A. 短期的に業績改善に寄与するのは、生産性改善の分野だと考えている。それらを含めた構造改革案を策定している。

以上